

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392000143
事業所名	グループホーム 真寿苑

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目：2) 町内会に加入し情報を得てお祭りや運動会、地域の防災訓練、保育園児との交流や高校の文化祭等に参加をしている。近隣の清掃活動や公民館で開催される認知症カフェで居場所作りを注いでいる。併設する事業所で行われる歌やフラダンス等のイベントを通して地域交流を深めたり、買い物に出かけたりして近隣の方々とのふれあいを大切にしている。また、小学生、中学生、高校生のボランティアも受け入れている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目：3) 入居者家族、区長、民生委員、有識者、併設する特養、ケアサポートの職員の参加を得て合同で年6回実施している。活動状況報告や地域との情報交換、有識者からの助言などもあり、防災についての意見交換などもしている。年間計画を配布した上で、案内を毎回出し、欠席者には議事録を配布している。提案や意見は記録され職員会議やカンファレンス会議などで協議し、運営に活かされている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目：4) 当推進会議に市担当者が毎回参加し、情報やアドバイスを得ている。申請代行時や通常の業務など、窓口を訪れたり電話で相談をしたり、情報の提供や収集を行っている。ぬくといカフェの集客について相談するなど、市の担当者とは良好な関係が築けている。市主催の研修会にも積極的に参加している。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目：6) 日々のケアの中で、やりたいことや困っていることなど思いを聞いたり、推察したりして申し送りノートに記載し、職員間で共有してケアに反映させている。家族からは面会時に積極的に聞くようにしている。年2回、サービス向上アンケートを実施し、結果を責任者会議で検討してケアや接遇などの改善に役立っている。月1回の担当者からの便りや法人からの便りは家族に安心を届けている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	-	-	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○